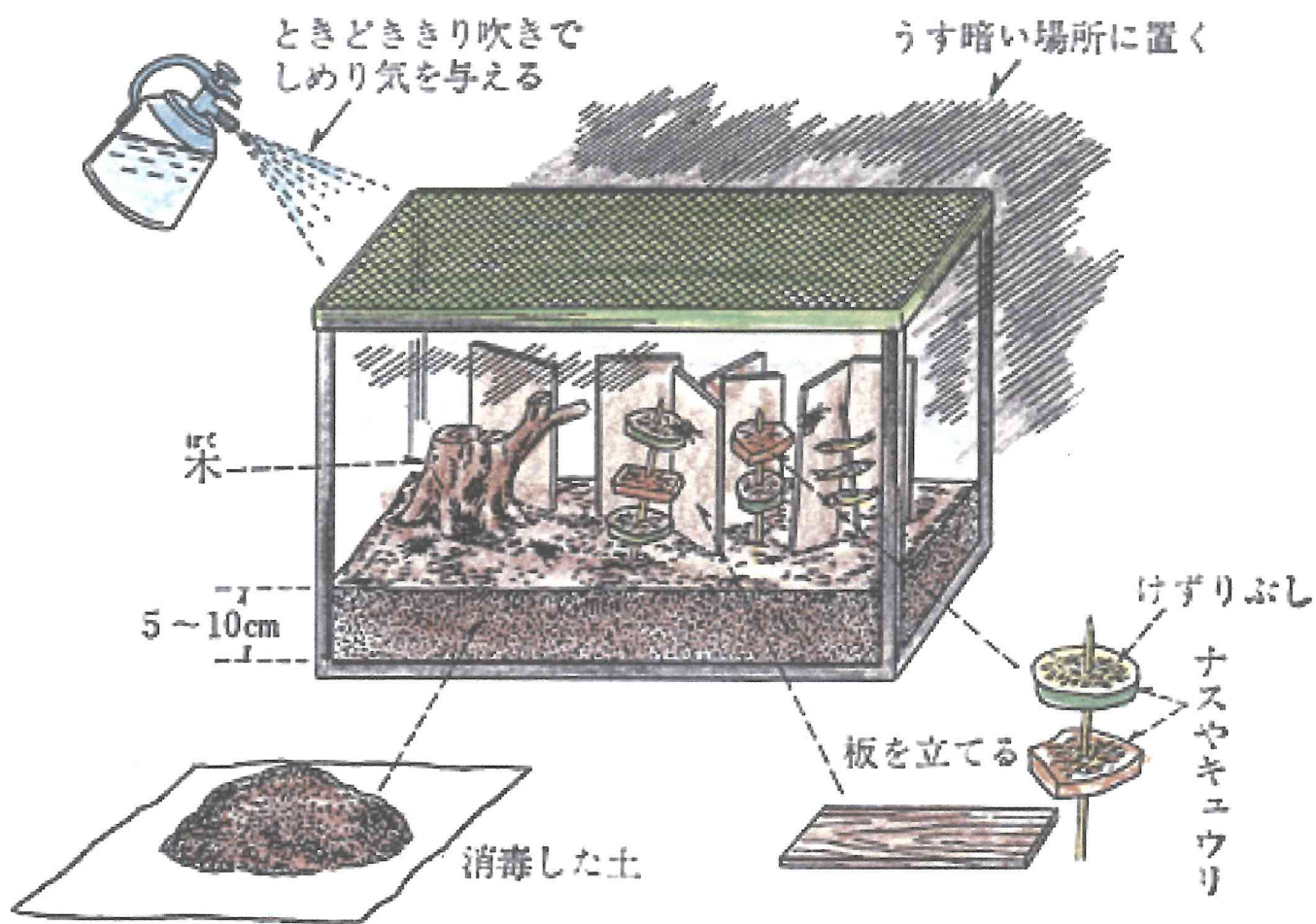


スズムシの飼い方



スズムシのメス



スズムシのオス

スズムシの飼育方法（幼虫・成虫編） (04.06.12 作成)

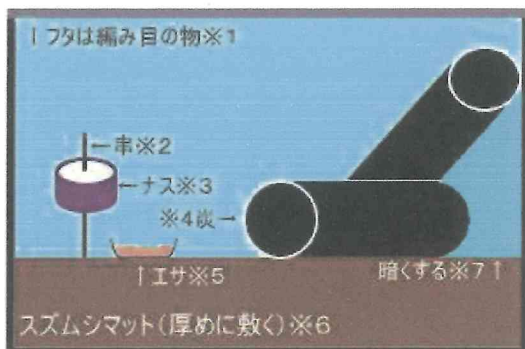
— 飼育カレンダー(標準の目安) —

| | | | | | | | | | | | |
|----|---|---|---|---|----|---|----|---|----|----|----|
| 1月 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 |
| 卵 | | | | | 幼虫 | | 成虫 | | | 卵 | |

— 用意する物(スズムシを飼う前に…) —

- ・ 飼育ケース(虫カゴや水槽等) **【必需品】**
- ・ 飼育マット **【必需品】**
- ・ 流木や炭などの止まり木(スズムシは黒い物を好み、炭には消臭効果もあるのでオススメ) **【必需品】**
- ・ 素焼きの植木鉢の割れた物などの隠れ家になる物(スズムシは暗い所を好むので隠れ場所を作ると良い。流木等でも代用可)

— 飼育方法 —



↑ 飼育ケースイメージ ↑

— 解説 —

- ※1. フタは外敵が入らない様な編み目の物を使う。(虫カゴのフタも可)
- ※2. 串は、エサが直接地面に付くと発生するカビなどを防ぐ為に使う。
- ※3. 野菜系のエサは、ナス・キュウリなどを出来れば毎日交換する。
- ※4. 炭は、飼育ケース内の湿度調節や消臭効果、止まり木としても使用出来るのでオススメです。流木や素焼きの植木鉢の割れた物も可。
- ※5. 粉末のエサはタンパク質の多い「市販の粉末のエサ」・カツオ節・減塩の煮干し等を使う。また、これも直接地面に付くとカビ等が発生するので、皿の上などに置く。ペットボトルのキャップでも十分です。

※6. スズムシマットは市販の物でも良い、なるべく厚め(5~6cm)に敷く。マットが乾かないように、霧吹きでスズムシに直接掛からないように噴霧する。

※7. スズムシは暗い所を好むので炭や流木、素焼きの植木鉢の割れた物で暗い場所を作る。

— 飼育時の注意事項 —

1. スズムシの飼育ケース近くで殺虫剤や蚊取り線香の使用に気を付ける(全滅の恐れもあり) **【重要】**
忘れがちなのが、虫除けスプレーを付けた手で飼育ケースに触れない。 **【重要】**
2. 飼育ケースは直射日光を避け風通しの良い涼しい所に置く。
3. エサをスズムシマットの上に直接置かない。(カビの発生を防ぐため)
4. エサは出来るだけ毎日交換する。
5. ナスやキュウリには農薬が使用されているので、使う前によく洗う。(全滅の恐れもあり) **【重要】**
6. スズムシマットを乾燥させない。(霧吹きを使用する際はスズムシに直接掛からないように噴霧する)
7. 共食いを避けるためにタンパク質を多く含むエサを多めに与える。
8. スズムシにはなるべく手で触らないようにする。(移動させる際は紙の上などに乗せて移動させるようにする)

— 幼虫の飼育方法 —

1. 孵化が始まったら約2週間様子を見る。(毎日生まれます)
2. 生後3日位からエサを食べるので、ナスや粉状にした「市販の粉末のエサ」を与える。
3. 1週間に1度の割合で脱皮を繰り返していきます。
4. 脱皮と共に幼虫はどんどん大きくなっていくので、あまり数が多い場合は複数の飼育ケースに分けましょう。
5. 7回の脱皮を繰り返して成虫になります。

基本的には、成虫の飼育方法と同じで構わないと思います。